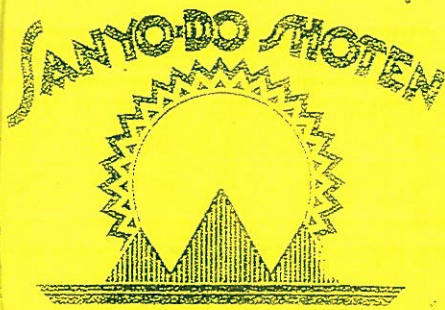


# 山陽堂だより.47

2013年6月水無月



山陽堂書店

03-3401-1709

臨時休業

6月8日(土)、お休みさせて頂いていただきます。この日は本や雑誌の発売はありません😊

「今日のこぼれ」  
「仕事で少し傷めた夜に」  
別にいいんです。  
失敗しても。

向いていない仕事はあきらめ、かえりもできない仕事はあきらめ。たまたまどこで何を学ぶか、次にどう活かすか。車でも夕方には起きないという考え方をしている人は強い。自分の知らない自分かわかる、どういた機会を提供してくれるのか。仕事あり、自分の変化したり成長したりすることが結果的に仕事への貢献(売上や利益)につながることは必ずある。

ミシマ社webマガジン  
みくろのミシママガジン 5/5 13月  
藤井大輔さんの言葉

7月下旬発売 9,975円  
目で見る港区の100年「展」  
5/27開 6/7(金)  
学校から帰ったあと  
ラントセルを置いて、あそびに行ける場所が残っていたころの、青山表参道界隈。\*\*\* "VANTOWN AOYAMA" のネオンサインがまたたくましく、目の前の青山通り。"ファッションの街" と言われる前の青山の様子がうっすらと見えています。

今年も5月25日13時から、青山善光寺で山の寺大空襲(昭和20年)の法要がありました。法要には30名くらいの方が参加。法要のあと、俳句の矢田穂さんが2005年5月の東京新聞の記事「炎の表参道 書店の奇跡」(山陽堂2代目長女理の90才からインタビューを受けた)、「経表参道 燃えた日」から岩田昭男さんの「三丁目の空襲 - 両親を失う」、秋田県民謡詩人吉田朗さんの「やせんまこち」として(お年玉を今(ほ)かり)「お年玉は3つとしかあけられないうけ、憲法9条から、孫は3人のふいふ3人から大きお年玉た」という詩など三篇を朗読してください。90才になる山陽堂の2代目長女の伯母は来年法要に来られたいかもしつた。何十年ぶりかで参加したい。「思い切った来たかった」と言いつつ、表参道原宿まで元気に歩いて帰途につきました。😊は2005年から法要に参加させていた方はいらっしゃいます。毎年お目にかかっていた方の数が少なくなつてきています。来年もまたこの日、善光寺で山の寺大空襲があります。





『草子ブックガイド』展～読んで、書いて、描いて～6月10日(月)～6月22日(土)  
月～金 11時～19時 土 11時～17時 (6/15 土はトークのため 13時～15時半まで閉廊) 日祝休み  
\*6/13 木曜日は、18時30分に閉廊

私の産まれた高知では、たくさんの美しい川がありました。父の田舎には四万十川があり、母の田舎には吉野川がありました。夏休みになると川で泳ぐのが楽しみでなりませんでした。

高知市内に住んでいた頃には仁淀川か鏡川に放課後、泳ぎに行ったのを覚えています。

川には色々な出会いや発見がありました。水中の生物や光る石。手づかみでつかんだ鮎の生命の強さ。しなやかさ。橋に座って皆と話したり、飛び込んだり。溺れそうになって助けられた記憶もあります。川から、いっぱい学んだなあと思います。

年を取り、川で泳ぐ事はなくなりました。川を文句なく楽しいと思えるのは若さの特権だったなあと思います。

でも。ふと、思ったのです。本を読むこととは川で泳ぐ事に似ていると。

いつの頃からか、本を読み、感じ、学び、たくさんの事を体験してきました。もう、田舎の川で泳ぐ事はできないけれど「本の川」を今もずっと泳いで居るんだなあと思いました。

自分は「本の川」で、昔、手づかんだ、あの鮎のような生命を持った本を読み、感じた事を心に書いて、漫画として描いてきたのかもと思いました。

そしてこの川は、たくさんの出会いも連れてきてくれました。

今回、山陽堂さんで『草子ブックガイド』展を開催していただけるようになったのも、「本の川」で泳いでいるうちに会った皆さんのおかげでした。本当にありがとうございました。

「本の川」で泳ぐ事は一生続けていくと思います。これからも、読んで、書いて、描いていきます。

『草子ブックガイド』作者 玉川重機

【『草子ブックガイド』作者・玉川重機氏 在廊日程】

会期中、著者の玉川重機さんが4日間ほど在廊、現在執筆中の『草子ブックガイド』15冊め「ハローサマー、グッバイ」編の執筆風景を生でご覧いただけます。玉川さん<sup>●</sup>在廊中にお越しただけた皆様は、実際の執筆原稿に線を入れていただいたり、玉川さんと直接お話しができます。ぜひお立ち寄りください。<玉川さん<sup>●</sup>在廊は、10日(月)・15日(土)・19日(水)・22日(土)を予定しています>

【トークセッション】

『草子ブックガイド』の舞台裏～玉川さん×リアル草子ちゃん<sup>●</sup>で新作ブックガイドを紡ぎ出す～  
6月15日(土) 14時～15時30分(開場:13時30分)

・出演 『草子ブックガイド』作者 玉川重機

『草子ブックガイド』公認 リアル草子ちゃん 今中菜津美さん

担当編集 講談社モーニング編集部 布施洋子

現在、漫画雑誌「モーニング」(講談社刊)で連載中の『草子ブックガイド』。記念すべき1話目に登場したのは『ロビンソン漂流記』。連載開始から3年経過、只今、玉川さんは15冊目『ハローサマー、グッバイ』編を執筆中。ブックガイドする作品の選定基準は一体何なのか? ブックガイドシーンはどのように紡がれてゆくのか? 『草子ブックガイド』作者の玉川さんと、作品公認リアル草子ちゃん・今中さんが、それぞれ作品に登場するキャラクターに扮して、即興ブックガイドに挑戦します。文学と物語の魅力を、肩の力を抜いて語り合ひましょう。当日は、皆さんからのブックガイドも募集します。今後の『草子ブックガイド』に皆さんが紡いだブックガイドが登場するかも? 会場でお待ちしています!

【特典付き!】

☆当日『草子ブックガイド』第1巻と最新刊(第2巻)のサイン会を行います。

・場 所: ギャラリー山陽堂 2F

・定 員: 25名

・参加費: 1500円 事前のお支払い。

※返金はできませんのでご了承ください。

・お申込方法: 店頭・下記問い合わせメール・電話・ファックス

mail: info@sanyodo-shoten.co.jp tel: 03-3401-1309 fax: 03-3401-1358